

【渋滞】

平成30年度 第1回 富山県道路安全・円滑化検討委員会

渋滞関係 説明資料

— 目 次 —

- | | | |
|---------------|-------|-----|
| 1. 渋滞対策の進め方 | | P 1 |
| 2. これまでの検討経緯 | | P 2 |
| 3. 渋滞対策について | | P 7 |
| 4. その他の視点 | | P 9 |
| 5. 今後の進め方について | | P11 |

平成30年7月24日(火)

1. 渋滞対策の進め方

■ 平成30年度 道路関係予算の概要

3 生産性の向上と新需要の創出による成長力の強化

(1) ネットワークを賢く使う ― 官民連携による渋滞対策の推進 ―

■ トラック・バス等、道路利用者の視点での渋滞箇所の特定や、渋滞の原因者である商業施設等の立地者が対策を講じるなど、官民連携による渋滞対策を推進します。

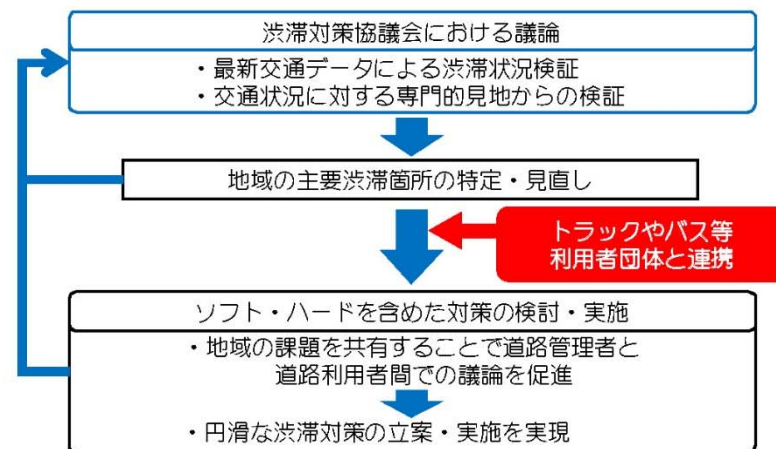
＜背景／データ＞

- 最新の交通データ等を基に全国の渋滞対策協議会において特定した主要渋滞箇所は、約9,000箇所(平成28年3月末時点)
- 大規模小売店舗等の商業施設の沿道立地による渋滞は、主要渋滞箇所の1割強(約1,200箇所)
- 路上工事は、全国の直轄道路で約6割減少しているが、近年下げ止まりの傾向(約201時間/km・年(平成14年度)→約79時間/km・年(平成28年度))

- 渋滞対策協議会^{参22}とトラックやバス等の利用者団体が連携を強化し、利用者の視点で渋滞箇所を特定した上で、速効対策を実施する取組を全国展開
- 商業施設等の立地者に対して、交通アセスメント等の実施を求めるなど、接道承認時の審査を強化するとともに、特に物流の基幹道路について、沿道利用をコントロールする新たな方策の導入を検討
- 占用工事实施時の道路使用に係る占用料の徴収や交通状況等を踏まえた占用料算定のあり方を検討

参22：各都道府県単位等で道路管理者、警察、自治体、利用者団体等が地域の主要渋滞箇所を特定し、ソフト・ハードを含めた対策を検討・実施するため、渋滞対策協議会を設置

〔渋滞対策の流れ〕



〔商業施設立地者による対策事例〕



＜対策箇所位置図（黒字が立地者実施）＞ ＜商業施設専用跨道橋（立地者実施）＞

2. これまでの検討経緯

(1) 検討委員会の議論のポイント

これまでの主な検討経緯

- H24 主要渋滞箇所の公表
- H25 渋滞対策基本方針(案)の議論
- H26 渋滞対策基本方針の策定
- H27～28 モニタリング結果、対策の実施状況及び効果検証、解除方針案の提案
- H29 主要渋滞箇所の見直し

ピンポイント渋滞対策の実施(国道8号江尻高架橋接続部)

沿道環境等の変化

道路・交通網の整備等

大型店舗出店

道路利用者のご意見

最新交通データ(ETC2.0等)

今回の議論のポイント

① ピンポイント渋滞対策の推進

- H30対策実施予定箇所、今後の対策実施方針

② その他の視点(施策紹介)

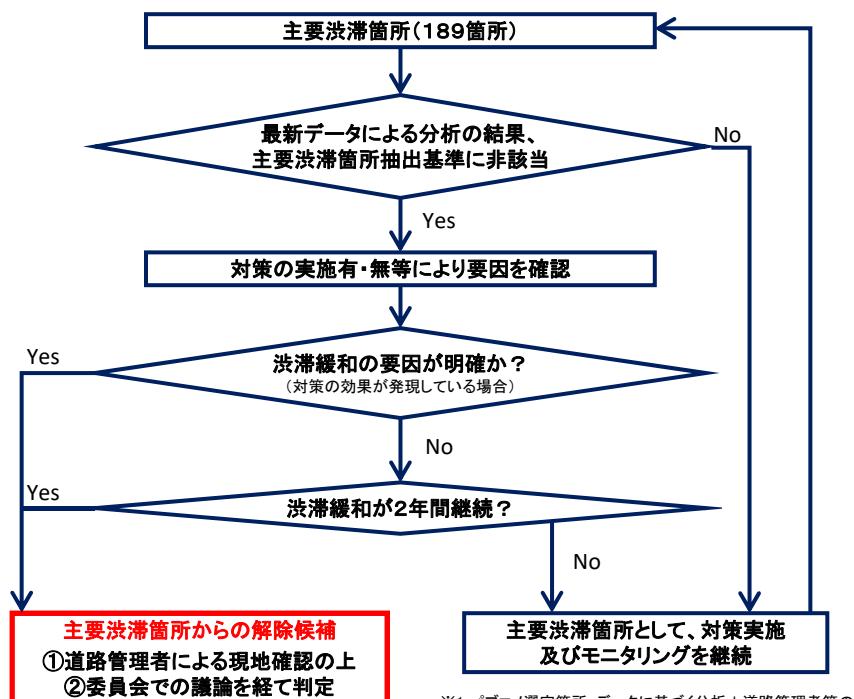
- 能越自動車道の料金変更に伴う交通状況の変化
- 交通アセスメントの取り組み事例

2. これまでの検討経緯

【参考】主要渋滞箇所 解除・追加フローの考え方

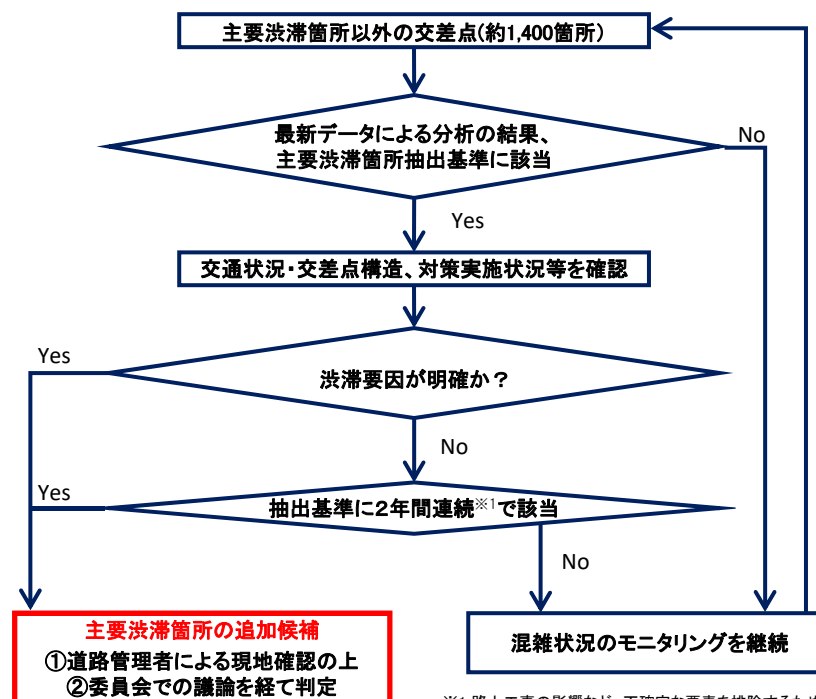
- 平成29年の委員会では、主要渋滞箇所の解除・追加フローについて議論。
- 当該フローに基づき、解除・追加候補箇所を選定し、現地確認を実施。
道路管理者の判断により、解除・追加箇所を選定した。

【主要渋滞箇所の解除フロー】



※1 バブコメ選定箇所: データに基づく分析+道路管理者等の
意見を踏まえ解除を検討
※2 高速道路の渋滞区間については別途検討

【主要渋滞箇所の追加フロー】



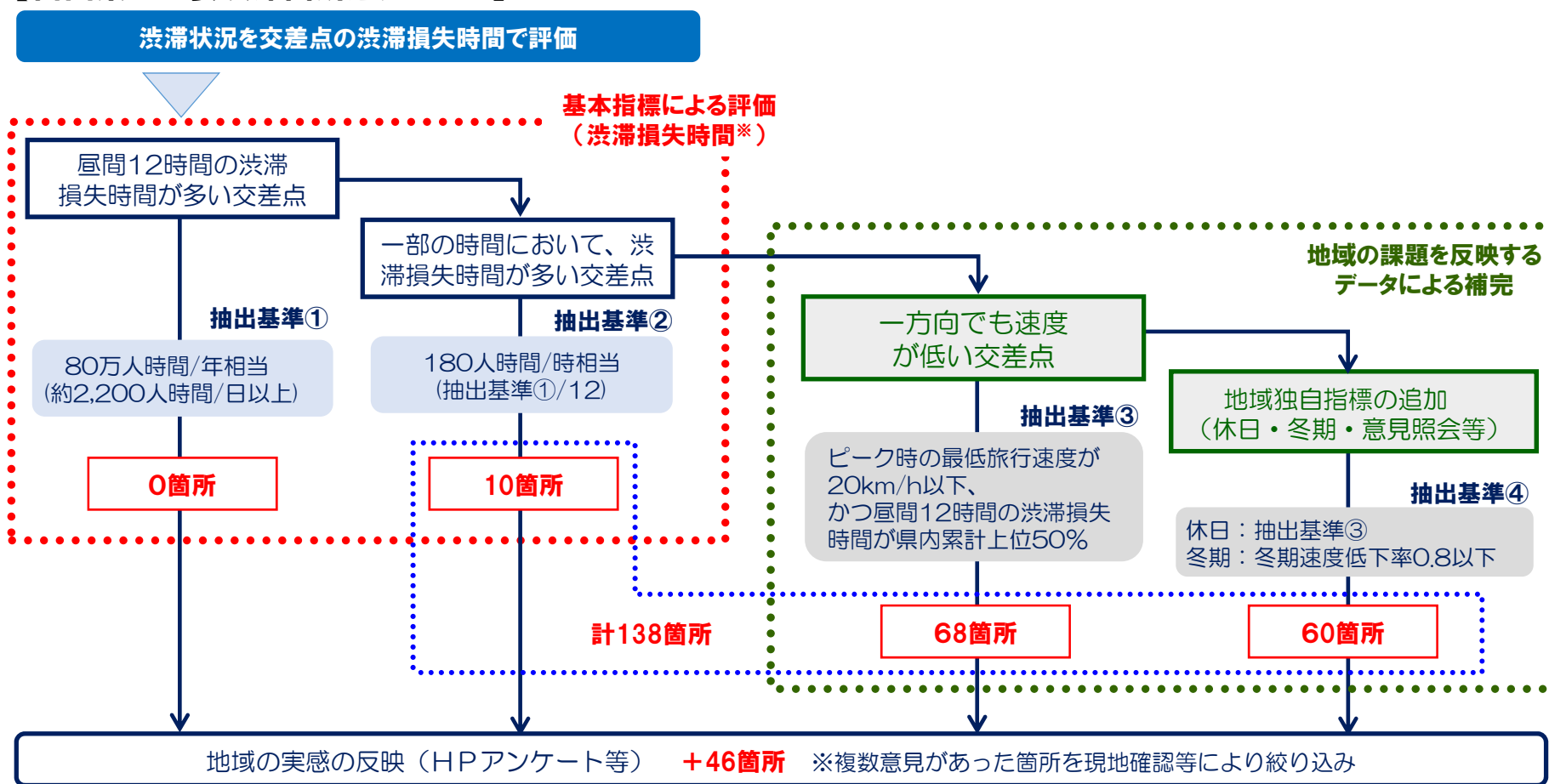
※1 路上工事の影響など、不確定な要素を排除するため
※2 高速道路の渋滞区間については別途検討

2. これまでの検討経緯

【参考】 主要渋滞箇所の選定状況

- 主要渋滞箇所は、基本指標による評価に加え地域の課題を踏まえた抽出基準により選定
- 平成29年度で主要渋滞箇所の見直しを実施し、現在184箇所を登録している。

【富山県の主要渋滞箇所選定フロー】



富山県の主要渋滞箇所 184箇所を選定

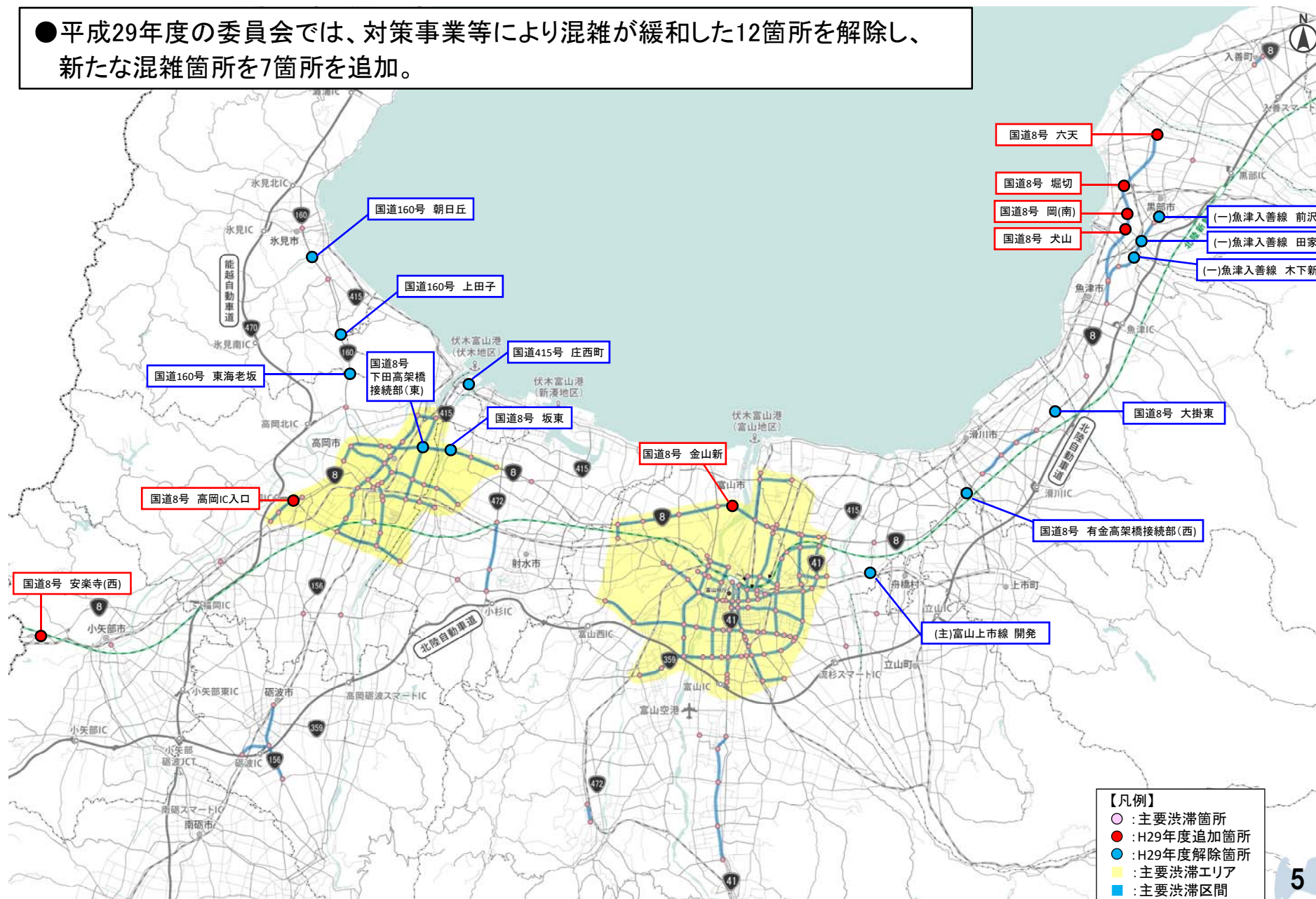
※ 渋滞損失時間

交差点に流入する区間で生じている損失時間（自由に走行できる状態からの遅れで、利用者が損失している時間）の合計

2. これまでの検討経緯

【参考】主要渋滞箇所の解除・追加の状況

- 平成29年度の委員会では、対策事業等により混雑が緩和した12箇所を解除し、新たな混雑箇所を7箇所を追加。



2. これまでの検討経緯

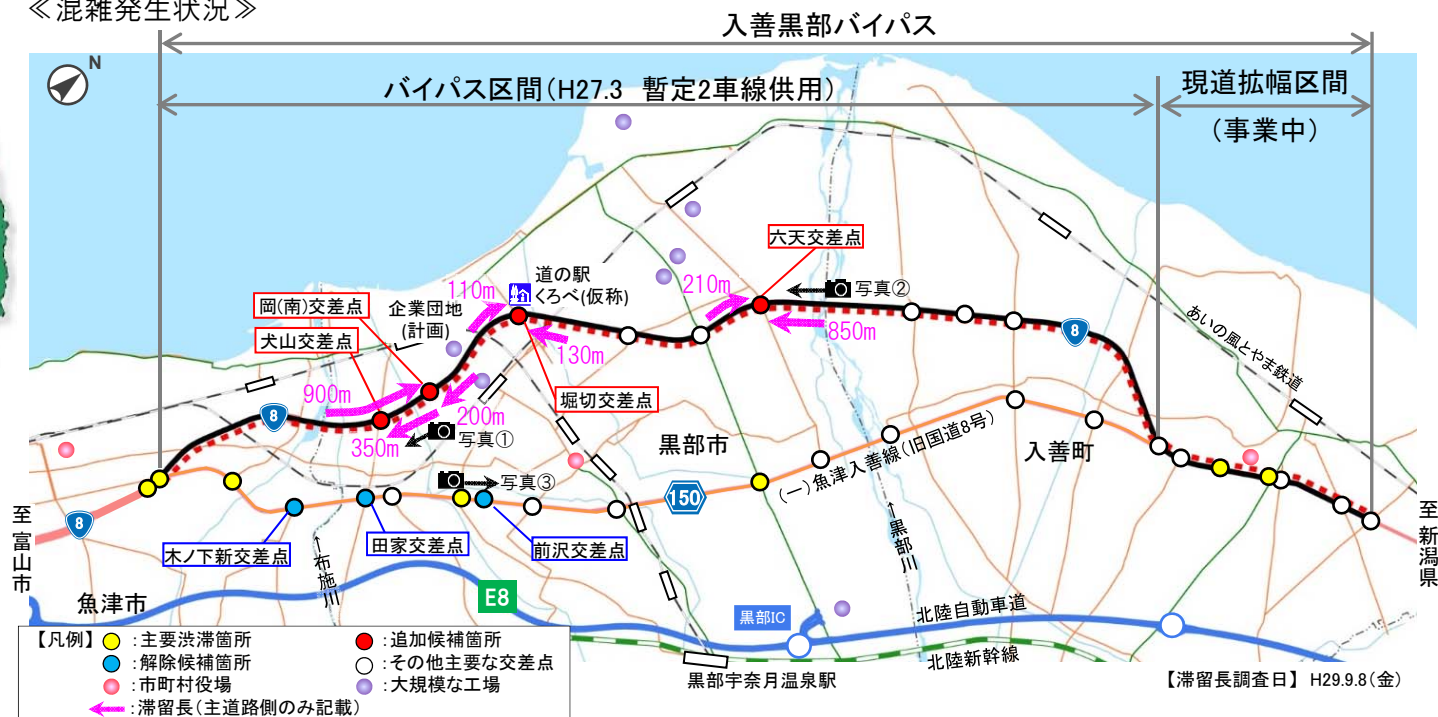
【参考】主要渋滞箇所の解除・追加の状況（国道8号 入善黒部バイパスの事例）

- 平成27年3月に開通したバイパス区間では、交通集中により混雑が著しい六天・堀切・岡（南）・犬山交差点を主要渋滞箇所に追加。
- （一）魚津入善線（旧国道8号）では、混雑の緩和した木下新・田家・前沢交差点の主要渋滞箇所の指定を解除。

＜位置図＞



＜混雑発生状況＞



＜現地状況写真＞

写真①



朝ピーク時 犬山交差点（下り線）

【撮影日】 H29.9.8（金）

写真②



朝ピーク時 六天交差点（下り線）

【撮影日】 H29.9.8（金）

写真③



朝ピーク時 前沢交差点（上り線）

【撮影日】 H29.11.28（火）

3. 渋滞対策について

H30年度 ピンポイント渋滞対策予定箇所【国道8号 安楽寺(西)交差点】

【課題（現状）】

- 国道8号安楽寺西交差点では、交差点の右折滞留長が不足し、ゼブラ帯を越え本線部まで右折待ち車両が延伸しており、直進車両の走行を阻害している。

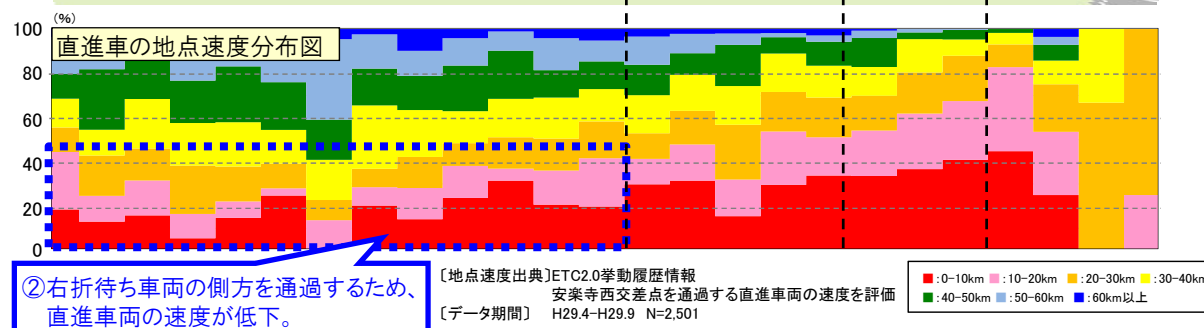
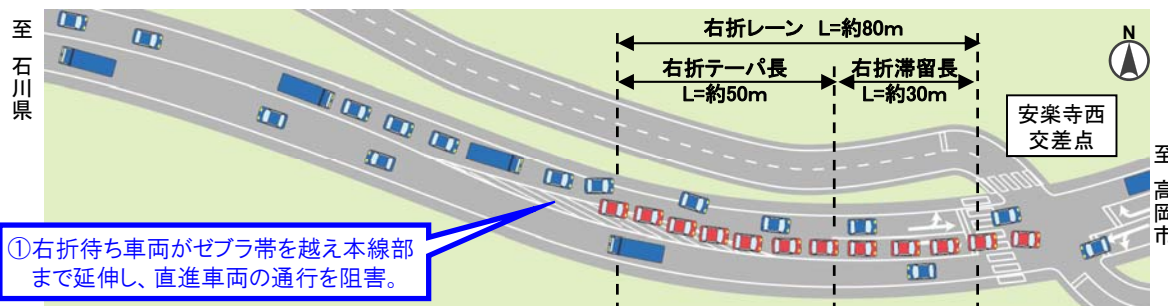
《位置図》



《広域図》



《交通状況分析》



《混雑状況》

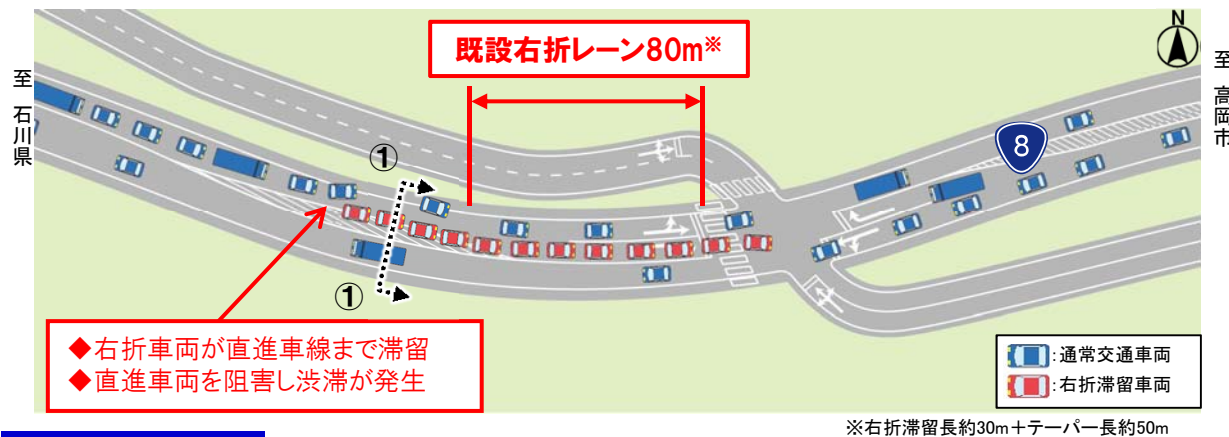


3. 渋滞対策について

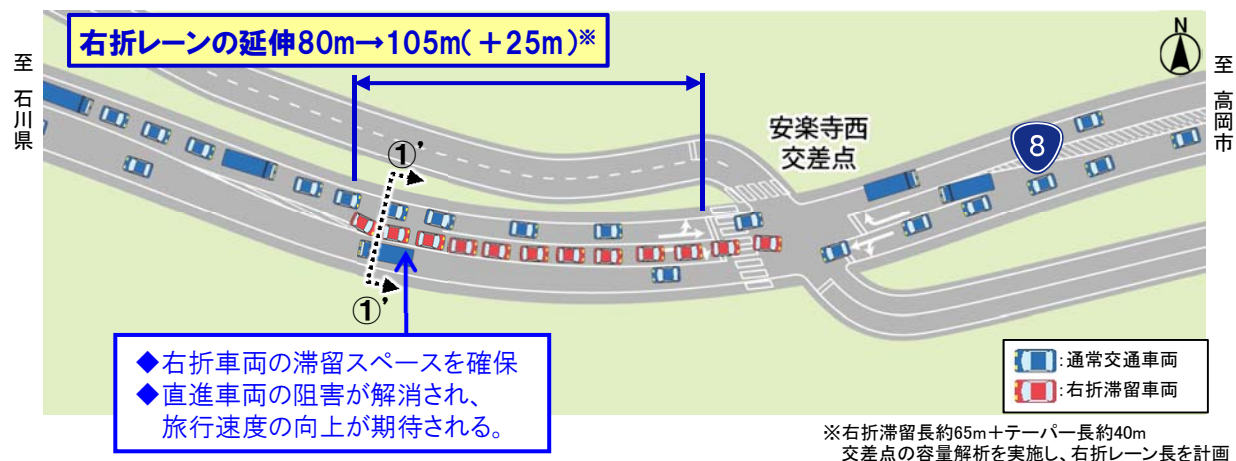
【対策（計画）】

- 交差点の右折レーンを現況の80mから105mに延伸し、必要な右折滞留長を確保。

対策前

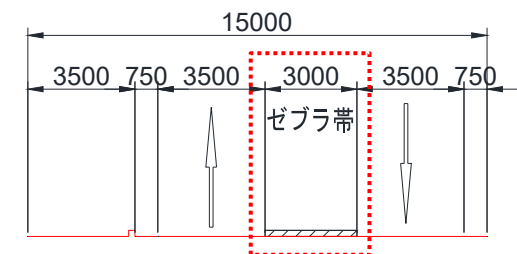


対策後(計画)

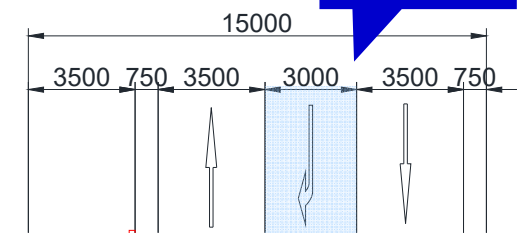


横断図

【①-①断面】



【①'-①'断面】



4. その他の視点

(1) 能越自動車道の料金変更に伴う交通状況の変化

- H30.6.20(水)より、能越道の福岡本線料金所を廃止し、小矢部砺波JCT～高岡IC間の通行料金に変更。
- 料金変更後の平日の日交通量は、国道8号と並行する福岡IC～高岡IC間で約52百台増加(+83%増)。
- 国道8号(並行区間)の平日の日交通量は、高岡市宝来で約21百台(-10%)減少。

■料金変更の概要



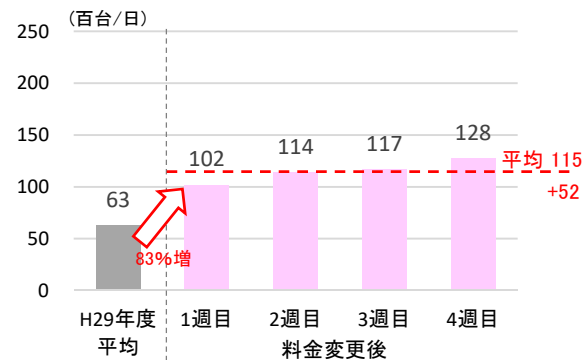
〔データ概要〕

- 交通量…常時観測データ
- 集計期間 1週目: H30.6.20(水)～H30.6.24(日)
2週目: H30.6.25(月)～H30.7.1(日)
3週目: H30.7.2(月)～H30.7.8(日)
4週目: H30.7.9(月)～H30.7.16(月・祝)
- 観測時間…0:00～24:00

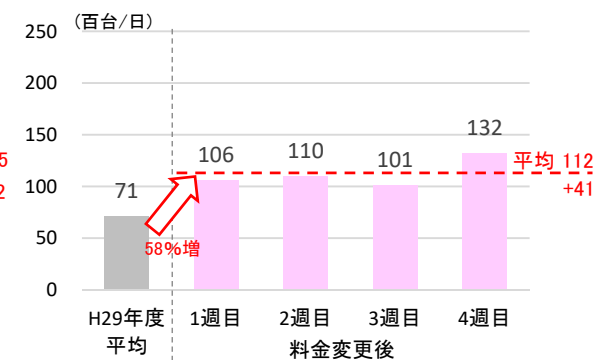
■日交通量の変化 (単位:百台/日)

①能越道 福岡IC～高岡IC間

【平日】

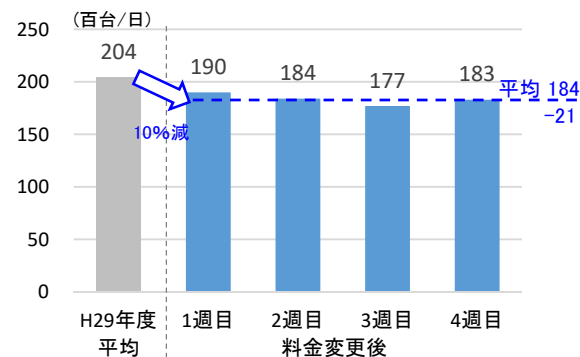


【休日】

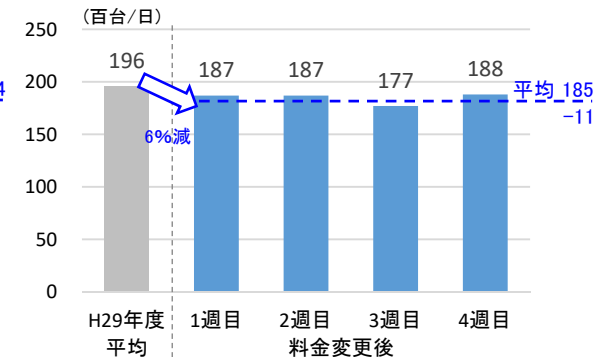


②国道8号 宝来

【平日】



【休日】



4. その他の視点

(2) 道路交通アセスメントの取組み

- 国道8号上北島交差点付近の大規模商業施設の立地により、交通量増加や乗り入れ等による混雑発生が懸念されたため、交差点構造に関して、立地者と事前協議を行った。
- 現況の交差点には右折レーンが設置しておらず、右折待ち車両による直進交通の阻害が予想されたため、立地者が右折レーン等の設置を行った。

■ 国道8号上北島交差点の事例

[概要]

○高岡市上北島における商業施設開発について、国道8号との交差点構造に対して協議。

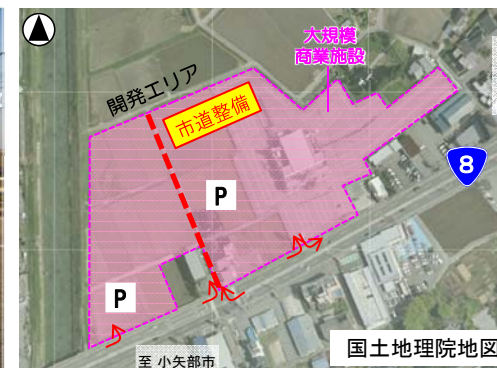
会議メンバー	立地者・警察・高岡市・国
検討内容	・交差点構造に関する協議
対策内容	・国道8号交差点改良(立地者) (右折レーン設置、ゼブラ帯整備) ・市道拡幅(立地者) 等を実施

[立地者による対策内容]

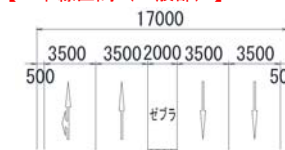
○交差点改良(右折レーン設置)

設置者	立地者
費用負担	立地者
道路管理者	富山河川国道事務所(高岡国道維持出張所)

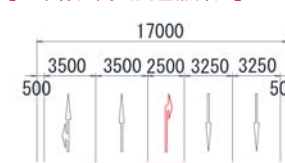
[対策箇所]



【4車線区間(一般部)】



【4車線区間(交差点部)】



現況ゼブラ帯(約2.0m)を活用し、現況用地内で右折車線(2.5m)を整備

5.今後の進め方について

■ H30年度以降の検討委員会の進め方

